



静岡新聞 創刊75周年・SBS 開局65周年 記念事業

① 国立カイロ博物館所蔵

黄金のファラオと

The Golden Pharaohs and Pyramids ~ The Treasures from the Egyptian Museum, Cairo

大ピラミッド展

静岡に屈指の至宝がやってくる!

2017年
4月9日[日]→6月25日[日]

開館時間/午前10時~午後5時30分(展示室への入室は午後5時まで)

休館日/毎週月曜日(ただし、4月10日(月)、5月1日(月)は開館)

夜間開館日/6月17日(土)、6月24日(土)は午後8時まで開館(展示室への入室は午後7時30分まで)

観覧料/一般1,400円(1,200円)、高校生・大学生・70歳以上700円(600円)、中学生以下無料

※()内は前売及び20名以上の団体料金。*収蔵品展、ロタン館も併せてご覧いただけます。*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料

主催/静岡県立美術館、静岡新聞社・静岡放送 特別協賛/清水銀行

後援/外務省、駐日エジプト大使館 協力/国立カイロ博物館、エジプトアラブ共和国考古省、学校法人昌平東日本国際大学、NPO法人大瀬の船復原研究所、日本エジプト学会、早稲田大学エジプト学研究所広報部、独立行政法人国際協力機構(JICA)、カタール航空、ルフハンザ カーゴ AG、日本通運
監修/吉村作治(東日本国際大学学長・早稲田大学名誉教授・工学博士) 企画制作/TBSテレビ 企画協力/アケト



監修: 吉村作治氏
開会初日に特別講演会開催
お楽しみに! (要申込)

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

今からおよそ4500年前、古代エジプトの古王国時代(紀元前2586～2185年)に、クフ王、カフラー王、メンカウラー王の3代のファラオたちによって巨大なピラミッド群が建造されました。宇宙からも見えるというこのピラミッドは、古代ギリシア時代から伝わる「世界の七不思議」の中で、今でも残っている唯一のものです。ピラミッドは、いつ、何のために、どうやって建てられたのか、謎はつきません。

本展覧会では、世界一のエジプト・コレクションを誇るエジプトの国立カイロ博物館から、こうした王とピラミッドの謎に関する貴重な至宝の数々をご覧ください。3大黄金マスクの一つと称される「アメンエムオバト王の黄金のマスク」や美しく麗麗な「彩色木棺」など、監修者の吉村作治氏が選り抜いた100点あまりの至宝の数々です。古王国時代を中心に、ファラオや王家の女性、貴族、ピラミッド建設を支えた人々などを紹介し、ピラミッドとそれを建てる偉大なファラオたちの壮大なドラマに迫ります。

また、ツタンカーメンの黄金のマスクやギザのピラミッド、ルクソール神殿などを撮影した高精細4Kシアターもお見逃しなく。古代エジプト文明3000年の旅をお楽しみください。

1 ピラミッドの建設とその技術

未だ多くの謎に包まれているピラミッド。人々はどのようにしてあの巨大なピラミッドを造ったのか、その技術に迫ります。

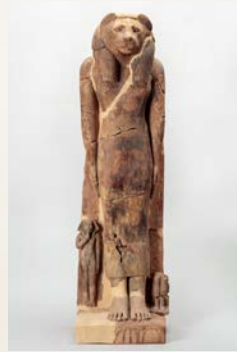
◀ロイとマヤのピラミディオン▶
新王国時代 第18王朝末
(前1336～1295年頃)



2 ピラミッド時代のファラオたち

ジュセル王が第3王朝を開き、古王国時代が幕を開けます。ジュセル王が階段ピラミッドをサクカラに建設し、始まった巨大ピラミッドの時代。ピラミッドを建築したファラオたちを紹介します。

◀クフ王とベピ1世像を伴うライオン女神像▶
古王国時代
第4王朝、クフ王の治世(前2589～2566年頃)
第6王朝、ベピ1世の治世(前2331～2287年頃)



3 ピラミッド時代を支えた人々

エジプトの遺跡から発掘された出土品からは、ピラミッドが建設された時代の人々の暮らしぶりをうかがい知ることが出来ます。階級によって生活には大きな開きがありました。貴族、知識階級、庶民がどのような生活をしていただのかを紹介します。



◀パン造りとビール造り職人の模型▶
中王国時代 第12王朝(前1985～1773年頃)

4 ピラミッド時代の女性たち

当時の女性たちは身分に応じておしゃれを楽しんでいました。櫛や化粧品容器といった生活用品から華やかな胸飾りや腕輪など装飾品の数々を紹介します。



左 ◀クヌムト王女の襟飾り▶ 中王国時代 第12王朝、アメンエムハト2世の治世(前1911～1877年頃)
右 ◀イタ王女の襟飾り▶ 中王国時代 第12王朝、アメンエムハト2世の治世(前1911～1877年頃)

会期中イベント

清水銀行Presents

当展覧会監修者 吉村作治氏 特別講演会 **要申込**

「古代エジプトのファラオと巨大ピラミッドの謎」



4月9日(日) 1回:午前11時～正午
2回:午後2時～午後3時

会場: 当館講堂
講師: 吉村作治氏
(東日本国際大学学長・早稲田大学名誉教授・工学博士)
※詳細は当館ホームページ、静岡新聞に掲載される広告等をご覧ください。

定員
各回
250名

講演会「古代エジプトの埋葬と来世観」 **要申込**

5月20日(土) 午後2時～午後3時30分 会場: 当館講堂

講師: 河合望氏(金沢大学新学術創成研究機構准教授)
※詳細は当館ホームページ、静岡新聞に掲載される広告等をご覧ください。

学芸員によるフロアレクチャー **申込不要 要観覧券**

4月15日(土)、5月12日(金) いずれも午後2時～(各回30～40分程度)

実技講座「エジプシャン・ビーズアクセサリー」 **要申込**

4月22日(土)・23(日) 午前10時～午後4時

わくわくアトリエ「太陽の船をつくろう」 **要申込**

6月4日(日) 午前10時～午後4時

ちよこっと体験「みんなでピラミッドをつくろう」 **申込不要**

5月17日(水)～21日(日) 午前10時～正午/午後1時～午後3時30分

※詳細は、個別チラシ、または当館ホームページをご覧ください。

表面 ①「アメンエムオバト王の黄金のマスク」第3中間期 第21王朝、アメンエムオバト王の治世(前993～984年頃) ②「クヌムト王女の襟飾り」中王国時代 第12王朝、アメンエムハト2世の治世(前1911～1877年頃)
③「カフラー王像」古王国時代 第4王朝、カフラー王の治世(前2558～2532年頃) ④「アメンエムベルムウトの彩色木棺とミイラ・カバー」第3中間期 第21王朝(前1069～945年頃)

5 黄金に輝く来世

最終章では、様々な墓や埋葬から古代エジプトの来世観に迫っていきます。古代エジプト人は現世と来世をどのように考えていたのでしょうか。黄金のマスクに込められた思いとは…。



◀アメンエムオバト王の黄金のマスク▶
第3中間期 第21王朝(前993～984年頃)



◀アメンエムベルムウトの彩色木棺とミイラ・カバー▶
第3中間期 第21王朝(前1069～945年頃)

※すべて国立カイロ博物館所蔵

チケット販売所

前売券は4月8日(土)まで販売

【前売・当日券】 チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブンイレブン(Pコード共通:768-147)、ローソンチケット、ミニストップ(Lコード共通:43260)、静岡県立美術館
【前売券のみ】 大和文庫、戸田書店(静岡本店、江尻店)、江崎書店(パルシェ店)、谷島屋(呉服町本店、マークイズ静岡店)、吉見書店(竜南店)、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗、SBS学苑、静岡新聞取扱販売店



次回以降展覧会

夏休み特別展示「日本画入門!」+「新収蔵品展」+「白の表現力」 7月14日(金)～8月4日(金)
2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展「戦国! 伊井直虎から直政へ」 8月14日(月)～10月12日(木)

静岡県美術館展覧会のご案内 「アルバレス・ブラボ写真展 ーメキシコ、静かなる光と時」 4月8日(土)～5月28日(日)

交通案内

- JR「草薙駅」東大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分(料金100円:20～30分間隔)
- JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、又は北口から静鉄バスで約30分
- JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、又は静鉄バスで約20分
- 静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、又は静鉄バスで約3分
- 東名高速道路・静岡IC、清水IC、又は新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

託児サービス(無料 日曜・祝日のみ利用可)

時間: 午前10時30分～午後3時30分 対象年齢: 6ヶ月以上～小学校就学前
※お預かりできる時間は2時間以内です。ご希望が多い場合は、お断りすることもあります。

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つなげる、次へ